

## 第8回絆づくりこうなん実行委員会 会議要旨

日時：平成24年1月29日（日） 午前9時～10時半

場所：市民・協働ステーション（情報センター2階）

大会議室

**議題：『この指とまれ 絆づくりカフェ』について**

**(1) 最終打合せ**

**(2) その他**

**※終了後、『団体 PR 事前説明会』を実施（11時～12時）**

### 『この指とまれ 絆づくりカフェ』について

#### ■2月11日（日）当日に向けての最終打合せ

- ◆前回、第7回委員会までに決定した事項について確認し、変更や追加の必要がないか検討しました。
- ・ギャラリーが空き次第（1月31日以降はギャラリーでの展示予定なし）、備品等を順次搬入する（情報センター備品だけでは椅子が足りないため、市役所から搬入）。
- ・プレゼンを希望する団体が2団体増え、全部で6団体がプレゼンすることになった。午前、午後の交流会冒頭にそれぞれ3団体ずつ行っていただき、時間については1団体5分程度を予定。プレゼン中、時間の経過を知らせるため「5分経過」のパネルは表示するが、強制的に終了させることはしない。
- ・今回の企画で新たな連携が生まれるとしたら、その動きを知る必要があると思う。実行委員会としては、商談がまとまった後の実施のサポートを行い、見守っていく必要がある。
- ・新たな活動が生まれたら、メッセージカードに記入していただいてはどうか。メッセージカードは案内で配付する他に何枚か用意し、会場内のあちこちに設置しておく。一人1枚ではなく、何枚でも自由に記入して掲示していただくように案内する。
- ・掲示されたメッセージカードの情報がほしい人がいたらどのように対応するか。
- ・メッセージカードがほしい人がいれば、コピー機（有料）を利用していただくか、その場でメモしていただく。後日集計してHPなどで公表していくので、そういった情報を利用していただくよう案内する。
- ・今回は初回であり、想定外のことが起こる可能性もある。協力しあいながら、運営していく。

#### ■今回の企画について、参加希望団体は予想より多い？少ない？

- ・今回、団体PRに参加を希望した団体は17団体。私は企画を検討し始めた当初、20団体以上の参加希望があると思っていた。
- ・団体PRへの参加より、交流会の参加者数が心配。結局、仲間どうしの交流で終わらないか。もちろん、今の仲間の絆を深めるのも重要なことだと思うが。先ほど、新たな動きのその後を知る必要があるとの意見があったが、「新たな仲間ができた、知り合いができた。」といった、活動を始める一歩手前の段階が生まれれば、この企画の成果であると思う。実行委員会が掌握できなくても大きな成果だ。団体PRの参加団体数イコール成果

ではないと思う。

- 交流をするためにも沢山の団体の参加が必要だ。団体 PR 参加数を求めるのは見せかけのためではない。沢山の団体が参加すれば、そのつながりで来場者も増え、新たな出会いの可能性が高まる。
- 今回は初めての試み。あまり初めから参加団体が多いと運営できるか不安である。また、県内でも色々なところで同じような企画を実施しているが、どこも参加者・来場者が集まらず苦労している。先日、県から「県主催のフォーラムに参加してもらえないか」と電話がかかってきた。県でも、チラシや HP で広報しているがなかなか人が集まらず、直接声をかけて、自分のつながりから参加者を募っている。
- このような機会を求めていた私としては、ワクワクしている。今までは、消えていきそうな活動を必至で引き止めていただけだったのが、今回は自分達の活動を PR し、仲間を募ることができる。
- 参加団体数が多いから良い悪いとは言わないが、自分達の活動を伝えるためには数は多い方が良い。私の活動は保育園や小学校にも知ってほしかったので、そういった人たちにも案内を出せば良かったと思っている。
- 初めの応募状況を考えると、実行委員のロコミで随分広がったと思う。
- 初回から華やかに盛大に実施するのは難しい。今回実施してみて、「次回はいつ？」といった声が出てくると良いと思っている。
- 今回は 2 月の実施になった。別のタイミングだったら参加できたといった声もあった。年に 2 回位、時期を変えて実施するのも参加者を増やす一つの手だと思う。時期、回数、時間帯などいつが良いのか、次回開催に向けて会場から声をひろってほしい。
- 気持ちとして、参加者を多くしたい思いはあるが、それを目標にするのは違う。
- 第 1 回をスタートにして、参加していただいた人たちを大切にしていきたい。
- 広報、HP など、行政からの縦の広報は気にしないと目に留まらないものである。だからこそ、つながりを作って声をかけて横のラインをつくる。縦横一緒に行うことで、網目をつくって伝えていくことが必要だと思う。

## ■『この指とまれ 絆づくりカフェ』について

◆2月11日（日）当日の流れについて、最終確認を行いました。

日時		内容・役割など
前日	15:00	パネル（ブース含む）展示場所、交流会テーブルの場所確定 ※プレゼン用プロジェクター設置、リハーサル（バン格拉デシュさん）
当日	8:30	実行委員集合、打合せ
	9:00	団体 PR 参加者集合、準備 ※10:00 までにおおよその展示が完了するようお願いする。 ※名札を着用していただく。（名札は事務室にあり）
	10:00	『この指とまれ 絆づくりカフェ』開会 ※会長、1 階でよびかけ、あいさつ

	10:25	※1階でよびかけ「交流会が始まります、ぜひ2階へ上がってください。」
	10:30	交流会 ①開会あいさつ（柴田会長） ②進行（齋藤委員） ③プレゼン（3団体予定、1団体5分程度） ※経過時間を知らせるため、5分経過のパネルを表示する ④交流（各テーブルに実行委員が一人は入り、話し合いを進める） A) 自己紹介 B) どんな活動をしている？したい？興味ある？ C) 今回の絆づくりカフェへの意見 （一緒に活動しませんか？どうしたら連携が進むか？） ※参加者の皆さんが何を求めているか、考えているかを聞き出す。時には聞き取って、実行委員がメッセージカードに記載する。
	12:00	昼休憩（in 大会議室） ※昼時間のみ、大会議室にポット設置 ※大会議室は昼休憩時間を多少前後して利用していただいても大丈夫。譲り合って利用していただく。
	13:00	再開
	13:25	※1階でよびかけ
	13:30	交流会
	14:50	閉会のあいさつ（柴田会長） ※名札の回収を行う
	15:00	片付け
	片付け後	振り返り、次回の日程調整

◆2月11日（日）当日の役割分担について

役割		担当者（午前）	担当者（午後）	
1階	案内	杉山委員	藤田委員	
	開会あいさつ（10:00）	柴田会長	—	
2階	カフェ	栗木委員	七條委員	
	交流会	開会あいさつ（10:30、13:30）	柴田会長	
		交流会説明・進行	齋藤委員	
		テーブル	栗本委員、柴田会長 齋藤委員、七條委員 藤田委員	栗木委員、栗本委員 柴田会長、齋藤委員 杉山委員、鈴木委員
	閉会あいさつ（14:50）	—	柴田会長	

※第7回委員会欠席の委員には、交流会テーブルに入ってください。

## ◇団体PR事前説明会

日時：平成24年1月29日（日） 午前11時～正午

場所：市民・協働ステーション（情報センター2階）大会議室

### ■絆づくり実行委員会会長あいさつ



#### 【柴田<sup>ひかる</sup> 熙 会長】

平成23年度今市場区長。地域の出来事をしっかり伝えたい！と、回覧ではなく各家庭に1部ずつ機関誌を配布するなど、住民に身近で親しみのわく地域運営を目指して地域活動を行っている。

江南市国際交流協会では、多文化共生の活動も行っており、多彩な経験を活かして、今回の『この指とまれ 絆づくりカフェ』の実行委員会の会長として委員を引率する。

※会場で柴田会長を見かけたら、ぜひ捕まえて声をかけてください！豊富な経験を持つ雑学王なので、何の話でも対応できますよっ。話す時間、1日で足りるかな…☆

市内ではたくさんのNPO・ボランティア活動が行われています。そういった皆さんの活動を、ぜひ多くの人に知っていただきたい。そして、今はそれぞれの団体により個々に行われている活動ですが、つながり、力を合わせることによって、活動をより広げていただきたい。そのための団体の絆づくりに役に立ちたいと思い集まった市民がこの実行委員会のメンバーになっています。

皆さんには、ぜひこの機会に日頃の活動をPRしていただき、色々な方と知り合って仲間をつくっていただくことを期待しています。

### ■参加者自己紹介

◆事前説明会には、14団体10名の方にご参加いただきました。「ずっと市民活動者の交流の機会を求めていた。今回の企画にはとても期待している。」との声をいただきました。

- ・以前から自分達の活動をPRしたいと思っていた。また、江南市内ではどのような活動が行われているのに興味があったので、この企画を知り参加を決めた。
- ・実行委員会のメンバーから話を聞き、丁度、3月に会の集いがあるので、そのPRのために参加させていただくことにした。
- ・絆づくりカフェでは、会員を募集したいと思っている。
- ・団体発足から地道に活動を継続してきた。今までの活動で利用してきた物品を展示したいと思っている。

### ■『この指とまれ 絆づくりカフェ』スケジュール、レイアウトについて

◆「この指とまれ 絆づくりカフェ」の1日の流れ、それぞれの団体に割り振るパネル展示（ブース）スペースの位置、展示の注意事項などを説明し、各団体から質問を受け付けました。

- ・団体PR参加者は、当日9時に集合して、展示の準備を始めればよいか。

⇒概ね9時～10時を展示の準備時間と考えている。10時までには大体の展示が終わるように、団体内で調整して準備していただきたい。

- ・ボードの高さから、机までの長さは？パネルの大きさを考える参考にしたいため教えていただきたい。  
⇒パネルの高さは約 1m80 cm、机は 70cm である。  
机より上のパネルの長さは 1m10cm となる。パネルの高さは、1m10cm 以内で考えていただくと良いと思う。



- ・ブースについて、パネルの前に机があり、パネルと机の間に椅子を置くイメージでよいか。

⇒そのとおり。ブース希望者には机 1 脚と椅子 2 脚を、パネル希望者には机を 1 脚用意する。必要がなければ利用しなくてもよい。

- ・参加者数の予想、見込みはどのくらいか。

⇒参加は申し込み制ではない。また、初めての企画であり、前年の数字もないため見込み予想はない。

- ・自分達の団体から仲間を連れてきてもよいか。

⇒歓迎する。ぜひ参加していただきたい。終日の参加でなくても、都合がつく時間帯に気軽に来て仲間づくりをしていただきたい。

- ・当日、商品を販売してもよいか。

⇒施設内での販売はご遠慮願う。ただ、商品の PR はしていただいてもかまわない。施設内での現金の受け渡しは厳禁。

## ■当日の注意事項



### 【齋藤<sup>まさはる</sup>雅治委員】

愛知県でも有数の活発な活動を誇る犬山市市民活動支援センター「しみんてい」スタッフ。NPO・ボランティアの連携、協力を生むために、団体間の中間支援活動に尽力している。

江南市では、市民協働・市民活動推進協議会の委員として、「江南市地域まちづくり補助金」や「江南市市民・協働ステーション」などの市民活動推進施策の運営に専門的な立場からアドバイス・助言をしている。

※会場で齋藤委員を見かけたら、ぜひ声をかけてください！若くて大きな体の優しい、(実際優しいです)男性です。愛知県内の市民活動情報の知恵袋みたいな人なので、活動の悩み解決のヒントがもらえるかも☆

### ◆齋藤委員から、団体 PR 参加の際の基本的な注意事項をお話しました。

- ・飲食は部屋の中で。オープンなスペースでは原則飲食禁止です。1 階給茶機付近であれば、お茶を飲んでいただくことは可能です。
- ・貴重品管理は個人で行ってください。また、出たゴミは持ち帰ってください。
- ・メッセージカードは一人何枚でも記載していただけます。団体の活動紹介、会員募集などのアピールの他に、今回の企画への感想、今回の企画で生まれた活動についてなど、何でも思ったことを記載してメッセージボードに掲示してください。

※ルールを守って、楽しく仲間づくりをしましょう！

たくさんの方と知り合って、たくさん話していただくことを、実行委員一同期待しています！！